

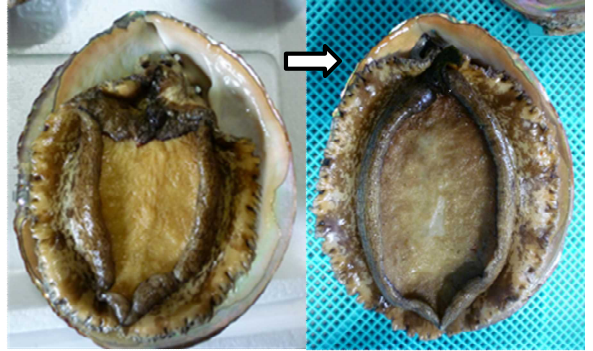
令和4年10月 静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場ニュース

## 磯焼け海域の痩せアワビを回復させる

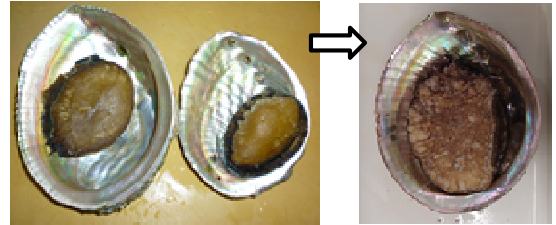
2017年夏から継続する黒潮大蛇行の影響で下田・南伊豆海域でカジメの磯焼けが発生しています。磯焼け海域では餌不足による痩せアワビが漁獲されますが、商品価値はありません。痩せたアワビに餌を与えて飼育することで、痩せ状態が回復するのであれば、磯焼けの影響を受ける産地の支援に繋がります。そこで昨年度から、痩せアワビの肥育条件を明らかにする試験を行ってきました。

今年度は、下田白浜地区で漁獲された痩せアワビ（メガイ）にカジメを与えて1か月ほど飼育\*したところ、軟体部が1個体当たり32g増え、右の写真のように肥らせることができました。2年間の試験の結果、水温20～22℃でカジメを餌に1か月ほど飼育すれば痩せ状態は回復すると考えられました。

(※いとう漁協の協力により、伊豆赤沢海洋深層水水産研究所で実施)

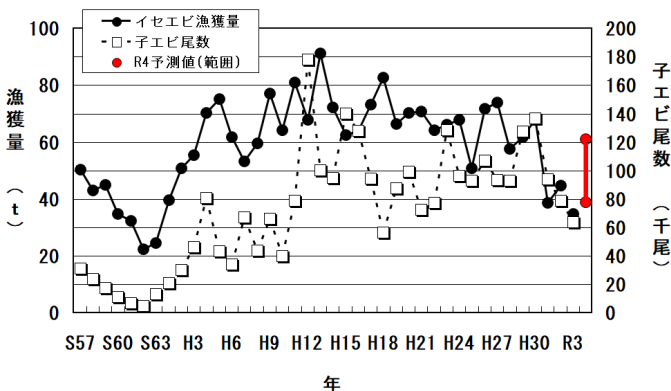


痩せアワビ（↑生 ↓ゆでた状態） 試験終了時



## イセエビの漁況予測

当場では毎年イセエビの漁期(9月16日～翌年5月14日)前に、下田・南伊豆地区の漁況予測を発表しています。漁獲量と子エビ尾数の推移を下図に示しました。両者とも令和に入り減少傾向が顕著になり、特に漁獲量では低水準であった昭和時代と同水準まで落ち込んでおり、注意が必要です。漁況予測は子エビと漁獲量の関係式から得られる予測値は60トンですが、漁獲量が低水準となっているため、40弱～60トンと予測しました(下図 赤)。



## 漁業高等学園の生徒23名が来場

県立漁業高等学園（焼津市）では、次代の漁業を担う若者が、漁師になるための勉強に日々励んでいます。9月14日、学園の研修の一環として生徒たちが当場を訪れました。

当場では、伊豆地域の漁業について説明を受けた後、施設で飼育している魚類等の見学や餌やりを体験しました。生徒たちは水槽内で泳ぐ魚類に興味深く観察していました。

当場の他に下田魚市場でキンメダイの水揚げも見学したようですが、今回の研修を通して、少しでも伊豆地域の漁業に興味を持っていただけたのであれば幸いです。



↑マダイの餌やり風景

- 10月の予定** ●イカ類資源評価協議会（6日） ●東部地区漁業士会 行政との意見交換会（14日）  
●第28回静岡県青年・女性漁業者交流大会（19日） ●ブリ類資源評価・予報技術連絡会議（24日）  
●キンメダイ人工授精・心化仔魚飼育試験 ●イセエビ測定

連絡先：静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場 〒415-0012 下田市白浜251-1 電話：0558-22-0835

アドレス：suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp ホームページ：https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu

当場には、自由に見学できる展示施設があります。皆様のお越しをお待ちしています。